



# メロン

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



## この症状はどんな病気？～つる枯病～

⚠ 防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！  
ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！ ⚠

### 【つる枯病(Didymella bryoniae)】



葉・茎・果実に発生する。茎では地際部付近の節に発生しやすく、暗緑色で水浸状の病変部を形成し、**ヤニを出す**。拡大すると褐色～灰白色となり、茎を取り巻くとそれより先の茎葉は萎凋枯死する。葉では水浸状の斑点を生じ、褐色～灰白色の大型病斑となる。葉・茎のどちらも病斑部に**黒色小黒点**を形成する。果実では、成熟期に黒褐色でややへこんだ割れ目の入った0.5～1mmの病斑を形成する。**初夏～秋期に多発**する。

### 【アブラムシ類】



体色は黄色・緑色・黒色など様々で、春～秋まで10回以上発生、寒い地方では卵で越冬するが、暖地では単為生殖を続ける。**25℃では1週間程度で成虫**となり、1頭あたり100頭近く産卵する。無翅が多いが、高密度になると有翅の個体が現れ、他の場所へ移動する。**5～6月に多発**し、夏は少ない。ワタアブラムシが新梢で多発すると、**葉が内側に巻いて丸くなる**。吸汁して糖分を含む液体を排出するため、多発すると**排泄物の上にすす病が発生**する。吸汁時にウイルスを媒介することもあり、**葉脈黄化病・モザイク病を媒介**する。

IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数 ミツバチ
UN, M03	疫病・炭疽病・つる枯病 斑点細菌病・べと病	ジマンダイセン水和剤	○	—	400～600倍	7日前	5回	3日
4C	アブラムシ類・コナジラミ類	トランスフォームフロアブル	—	—	1000～2000倍 (アブラムシ類:2000倍)	前日	3回	10日
M07, 53	うどんこ病・つる枯病	※フセキワイドフロアブル	○	○	1000倍	前日	4回	0日
23	アブラムシ類・コナジラミ類 アザミウマ類・ハダニ類	モベントフロアブル	—	—	2000倍	前日	3回	1日
4, M05	うどんこ病・つる枯病・べと病	フォリオゴールド	○	○	800倍 (べと病:800～1000倍)	3日前	3回	—
6	コナジラミ類・アザミウマ類・ハダニ類	アグリメック	—	—	500～1000倍	前日	3回	14日
7	うどんこ病・つる枯病・菌核病	ケンジャフロアブル	○	—	1500倍	前日	3回	1日
9B	アブラムシ類	チェス顆粒水和剤	—	—	5000倍	3日前	4回	0日

※幼果期のメロンに対して薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意してください。

酷暑に打ち克つ

## ヒートインパクト

暑さに負けない“強さ”を引き出す

- ◆ 光合成機能の低下による収量減対策
- ◆ 果菜類の糖度・肥大不足に!

果菜類・葉菜類使用例

1000倍 100ml/10a

本葉展開後～収穫前 2～3回 葉面散布



## フルボデイ

NPK  
8-5-5

腐植酸(フルボ酸・フミン酸)→土壌の団粒化  
海藻抽出成分配合→根張りを良くして苗質を向上



定植ストレス軽減・細根の発生促進!

育苗・定植前 1000～2000倍 灌注・どぶ漬け

